

家畜体内受精卵移植に関する講習会を開催

肉質や産乳能力に優れた子牛を効率的に増産するため、毎年当センターや農家の優良牛から採取した受精卵を他の雌牛に移植する技術が活用され、府内産牛の増頭などに貢献しています。

11月10日から12月3日まで、当センター職員を講師として家畜改良増殖法に基づく受精卵移植資格者を養成する講習会が開催され、府内和牛繁殖農家と酪農を行う農場に勤務する職員の二人が受講しました。

人工授精資格からのステップアップとなった二人は、48時間の学科と76時間の実習を終え、修業試験にも合格されて、地域の畜産の担い手として今後益々の活躍が期待されています。



実物の臓器を用いて生殖器の構造を学ぶ



生体を用いて受精卵移植の感覚をつかむ